

科目名 (Eng)		法学(Law)						
担当教員		木原 淳						
対象学年等	学科・学年		授業期間・区分・単位数・時間数			分野	形態	学修単位科目
	一般科目コミ	4	通年	必修	2	60	一般	B
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(A-1). (A-2). (A-3). (A-4). (A-5). (C-1). (F-1).							
	卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：1). 3). 6)							
	JABEE基準1 (1)との対応：(a), (f)				JABEE 必修科目			
授業の概要と方針		前期は私法を中心とする現代日本法の基礎を解説する。 後期は日本国憲法の基礎を解説する。						
到達目標		①ビジネスと関わりの深い法領域についての基礎知識を習得する。 ②日本国憲法に関わる基礎知識を習得する。 ③ルールにしたがって問題解決を図る思考を理解する。						
授業計画								
	週	授業項目	理解すべき内容				準備学習	
前期	1	導入	法の社会的機能 法律学の特徴					
	2	法の概念(1)	社会規範としての法				プリント穴埋め	
	3	法の概念(2)	法と慣習 法と強制				プリント穴埋め	
	4	法の概念(3)	法と道徳				プリント穴埋め	
	5	法の概念(4)	法の目的としての正義				プリント穴埋め	
	6	裁判制度と法の実現(1)	近代市民法の体系 公法と私法				プリント穴埋め	
	7	裁判制度と法の実現(2)	裁判の構造と原則				プリント穴埋め	
	8	裁判制度と法の実現(3)	法曹制度				プリント穴埋め	
	9	自然人と法人	権利能力と行為能力 法人の区分				プリント穴埋め	
	10	株式会社(1)	会社の意義と区分				プリント穴埋め	
	11	株式会社(2)	株主の権利と株式会社の構造				プリント穴埋め	
	12	株式会社(3)	株式の機能				プリント穴埋め	
	13	不法行為制度	一般不法行為と特殊不法行為				プリント穴埋め	
	14	製造物責任制度	過失責任から欠陥責任へ				プリント穴埋め	
	15	まとめ	私法を通じての正義の実現				試験見直し	
後期	16	国家と憲法	国家と憲法の概念				指定箇所下読み	
	17	日本国憲法の成立	明治憲法体制の成立～日本国憲法体制の成立				指定箇所下読み	
	18	国民主権と天皇	主権の概念 憲法成立の法理				指定箇所下読み	
	19	平和主義(1)	平和主義の背景 不戦条約				指定箇所下読み	
	20	平和主義(2)	憲法9条の解釈と判例				指定箇所下読み	
	21	人権総論	人権の歴史と概念				指定箇所下読み	
	22	幸福追求権	13条の解釈 新しい人権				指定箇所下読み	
	23	法の下での平等	尊属殺重罰規定違憲判決 非婚外子相続規定				指定箇所下読み	
	24	思想及び良心の自由	謝罪広告事件 三菱樹脂事件				指定箇所下読み	
	25	信教の自由	牧会活動事件 神戸高専事件				指定箇所下読み	
	26	政教分離原則	津地鎮祭事件 総理大臣の靖国参拝				指定箇所下読み	
	27	社会権(1)－生存権	社会権の特徴 生存権の法的性質				指定箇所下読み	
	28	社会権(2)－労働基本権	公務員の労働基本権 全農林警職法事件等				指定箇所下読み	
	29	司法権と違憲審査制度	法の支配と民主制の関わり				指定箇所下読み	
	30	まとめ	立憲主義と正義				試験見直し	
試験について		前期末試験(50分)と後期末試験(100分)を実施する。						
評価方法		定期試験の成績を70%、課題を30%として評価する。						
教科書		配布プリント、『コンサイス判例六法』、芦部信喜『憲法(第4版)』岩波書店						
参考書		五十嵐清『私法入門』(有斐閣)						
関連科目		人文社会科学概論A及びB、経済学、技術者倫理						
履修上の注意		条文の背景となる政治・経済・社会的背景を理解すること。						